

『自然災害』から見え てきた 人や地域との つながり

基調講演

「東日本大震災に何を考え、どう動いたか」

諸井 道隆氏 (天理教山名大教会長)

パネルディスカッション

「人や地域とのつながりを求めて」

【パネリスト】

荒川 博之氏 (天理教長楽分教会前会長)

豊島日出美氏 (天理教虻田分教会長)

土内やえ子氏 (天理教南陸中分教会長夫人)

【司会】

林 久郎 (ひのきしんスクール運営委員)

立教 175 年 (2012)

9 月 25 日 (火) 参加無料

南右第二棟「陽気ホール」

● 午後 12 時 30 分開場

● 午後 1 時～ 4 時

● 定員 300 名

ひのきしんスクール事務局

〒632-8501

奈良県天理市

三島町 271

Tel 0743-63-2314

Fax 0743-63-7578

Mail h-sc@tenrikyo.jp

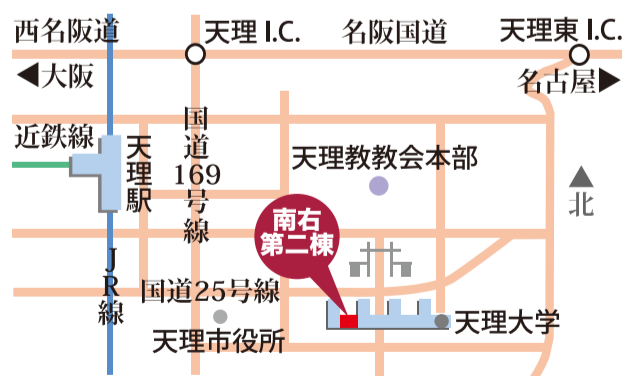
携帯・スマートフォンは

こちらから



参加ご希望の方は代表者名、住所、電話番号及び参加人数を明記してハガキ、ファックス、メール、ホームページよりお申し込みください。

ホームページ <http://fukyo.tenrikyo.or.jp/h-sc/>



私たちは自然災害と隣り合わせに生きています。頻発する自然災害から時を経て見えてきたこと。人や地域との絆、当たり前な生活の見直しなど、改めて皆さんと共に考えていきたいと思えます。

